

令和8年度 学力向上のための重点プラン【小学校】新宿区立落合第五小学校

■ 学校の共通目標

授業作り	重 点	協働して問題を解決する場を設定し、学習内容の理解を深め、活用できる授業作りに取り組む。
環境作り		実態に応じた家庭学習、デジタルドリルの活用による語彙の獲得と既習事項の定着を図る。

■ 学年の取組について

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名や数字の基礎学力の定着度に個人差が大きく、個別での対応が必要である。 大事なことを落とさずに聞くことや、自分の考えを伝える力は少しずつ身に付いているが、継続的を行うことで定着を図れる。 算数科の数の構成では、10の構成の歌を作るなど工夫することで、児童がすすんで取り組む姿勢が見られる。個人差を考え家庭学習とともに、継続した指導を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> はね、はらい、とめを意識した平仮名の正しい書き方ができるようになる。 相手の話を聞き、自分の思いを明確にもって話す力の向上を図る。 友達の良いところを見付け、伝えることができるようにする。 数の構成を理解し、正しく計算する力を育成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 継続した視写の指導や名前の練習 様々な教科やかしわトーク等におけるペアでの対話場面の設定 日常的な話を聞く姿勢や心構えの指導 友達の考えの良さを見付けることの指導 「ととのうた」(数の構成の歌)を取り入れた数の構成に関する継続的な指導 デジタルドリルの活用
2 学 年	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や計算などの基礎学力の定着度に個人差が大きく、個別での対応が必要である。 自分の思いや考えをもつことはできているが、それらを適切な語句で表現することが難しい児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別対応によって、学習課題に対する個々の理解と主体的な取組を向上させる。 自分の思いや考えを適切な語句で表現する力を育成する。 漢字学習における定着度を向上させる。 くり上がりやくり下がりのある計算で、正しく速く計算する力を定着させる。 他者の意見を聞いて自分の考えをもち、表現する力を育成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 児童一人ひとりに即した課題の設定 家庭学習定着のための家庭との密な連携 読書の推進と全ての教科等での語彙表の活用 視写による漢字指導 継続的な計算練習の時間の確保 互いの良さを認め合う場の設定 グループ学習の場面の設定 デジタルドリルの活用
3 学 年	<p>新宿区学力定着度調査の結果から</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語科において、話の順序を意識して聞き取れていない児童が多い。 国語科において、場面の様子を読み取る際に、文章の細部の表現に着目できていない児童が多い。 算数科において、計算(特に引き算)の力が定着していない児童が多い。 自分の考えを式や言葉を用いて適切に説明できない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別対応によって、学習課題に対する個々の理解と主体的な取組を向上させる。 自分の思いや考えを適切な語彙で表現する力を育成する。 漢字学習における定着度を向上させる。 くり上がりやくり下がりのある計算で正しく速く計算する力と、九九を定着させる。 他者の意見を聞いて自分の考えをもち、表現する力を育成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 児童一人ひとりに即した課題の設定 家庭学習の定着を図るための家庭との密な連携 読書の推進と全ての教科等での語彙表の活用 視写による漢字指導 計算練習の時間の継続的な確保、九九表の掲示と復唱する機会の確保 互いの良さを認め合う場の設定 グループ学習の場面の設定 デジタルドリルの活用

<p>4 学 年</p>	<p>新宿区学力定着度調査の結果から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科において、話の順序を意識して聞き取れていない児童が多い。 ・国語科において、既習の漢字が定着していない児童が多い。 ・算数科において、既習の計算（特にかかけ算）の力が定着していない児童が多い。 ・自分の考えを発表しようとする意欲がある児童が多いが、順序立てて適切に説明する力が不足している児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の伝えたいことを、順序を意識して聞き取る力を身に付けさせる。 ・習った漢字を日常の中で使うことを習慣付けさせる。 ・大きな桁数の計算や、くり上がりやくり下がりのある計算が正しくできる力を身に付けさせる。 ・自分の考えを相手に分かるように説明する力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①様々な教科やかしわトーク等におけるペアでの対話場面の設定 ②国語辞典の積極的な活用 ③計算練習の時間の継続的な確保 ④デジタルドリルの活用 ⑤様々な教科で、考えを友達に説明する機会の意図的な設定
<p>5 学 年</p>	<p>新宿区学力定着度調査の結果から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科において、漢字を正しく使言葉の使い方を理解している児童が多い。 ・国語科において、物語文で登場人物の心情について書き抜いたり、選んだりすることはできるが、まとめることができている児童がいる。 ・基本的な計算を行うことができているが、大きい数や0を含む計算になると定着していない児童がいる。 ・数量の関係を式に表すことができていない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに様々な言葉を使うことができるよう、語彙を増やしたり、活用したりできるようにする。 ・物語文や説明文を読み、文章に書かれていることを根拠に自分の考えを書くことができるようにする。 ・基本的な計算力の定着や、くり上がりやくり下がりのある計算、空位の0を含む計算を正しく行うことができるようにする。 ・自分の考えを言葉や式で表し、伝えることができるようにする。 ・立体図形の模型等を積極的に提示し、触れたり数えたりしながら、頂点や辺の関係について理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①語彙表や国語辞典の積極的な活用 ②叙述を基に自分の考えを伝える指導の徹底 ③日記や振り返り等、継続的な書く活動の確保 ④計算練習の時間の継続的な確保 ⑤ペアでの対話場面の設定 ⑥デジタルドリルの活用
<p>6 学 年</p>	<p>新宿区学力定着度調査の結果から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科において、文章の大まかな流れの読み取りや聞き取りはできるが、細部まで詳しく聞いたり、書いたりすることに課題のある児童が多い。 ・国語科において、既習の漢字が定着していない児童が多い。 ・算数科において、計算処理の能力は高いが、図形の性質や問題文を正しく理解することに課題がある児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に対する意欲や知識はあるため、これを生かし、自分の意見を積極的に述べたり、相手の話を最後まで聞いて自らの学習に取り入れたりする態度を育成する。 ・学習規律を整え、話や説明を最後まで聞けるようにする。 ・題意を正しく理解し、見通しをもって学習しようとする意欲を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①児童が興味・関心をもてるような授業の導入の工夫 ②落ち着いた雰囲気学習環境作り ③継続的に取り組めるような家庭学習の設定 ④様々な教科やかしわトーク等におけるペアでの対話場面の設定 ⑤デジタルドリルの活用